



けやきよ…

発行者
校長 西内英理

平成30年度がスタートしました。

162名の新入生を迎え、2年生192名、3年生184名、計538名の全校生徒と50名の教職員で、平一中の平成30年度が始まりました。私は、この4月に本校に着任しました、校長の西内英理（「ひでまさ」と読みます）です。よろしくお願いいたします。

さて、入学式や始業式では、大きな期待をこめて、生徒たちに次のような話をしました。

〔 始業式で 〕

- (1) 1年後の自分の姿を思い描き、それを実現するためには何をしなければならないのかを明確にして、全力で取り組んでほしい。そのために、スモールステップの目標を設定し、その克服と、クリアできなかったときの修正力を身につけてほしい。
- (2) 平一中での生活を楽しんでほしい。しかし、学校は集団生活の場であるので、自分ひとりが楽しむのではなく、思いやりや励ましの気持ち、感謝の心を持って、一中生全員が「楽しい1年間だった」と言えるようにしてほしい。

〔 入学式で 〕

3つのキーワードを示しました。

- (1) 「学ぶ」
「豊かな知識」「深く考える力」「正しく判断する力」を身につけるために、学校での授業の時間を大切にしてほしい。
- (2) 「鍛える」
体育の授業や部活動などで体を、たくさんの友達や先輩、先生方との関わりの中で心を鍛えてほしい。苦しいこと、辛いことから逃げたり避けて通ったりするのではなく、家族や先生、友達の協力を得ながら、しっかりとした気持ちで立ち向かい克服していく強い気持ちを身につけてほしい。
- (3) 「楽しむ」
さまざまな学校行事や部活動を、存分に楽しんでほしい。しかし、学校は集団生活なので、好き勝手なことをしたり、わがままなことを言ったりしてはいけない。周囲の友達の気持ちを思いやり、時には自分の気持ちを抑えながら行動し、みんなで楽しむことが大切。

この1年間、子どもたちがどれだけの成長を見せてくれるのかを楽しみにしながら、われわれ教職員は丸となって、生徒ひとりひとりのために全力で指導・支援をしてまいります。

学校とご家庭とが連携を深めながら、協力をしあって子どもたちを見守っていくことも子どもたちの大きな成長のためには大切なことです。私どもと保護者の皆様が常に同じ方向を向いて進んでいくことができますよう、今後とも本校教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。